

ようこそ 三帆ひろばへ

Welcome to SANPO PARK

みんなで作る
市民さん加

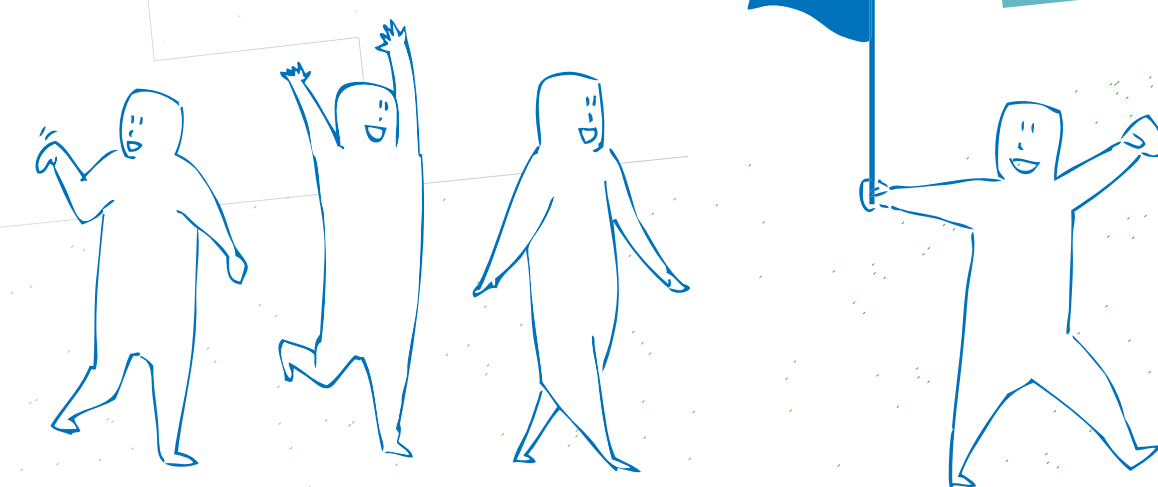
土浦市民の広場への
愛着を醸成する

シンボルの
さん角

ヨットの帆に由来する
デザインモチーフ

さんぽ
ステーション

立ち寄りたくなる
居心地のよい
場づくり



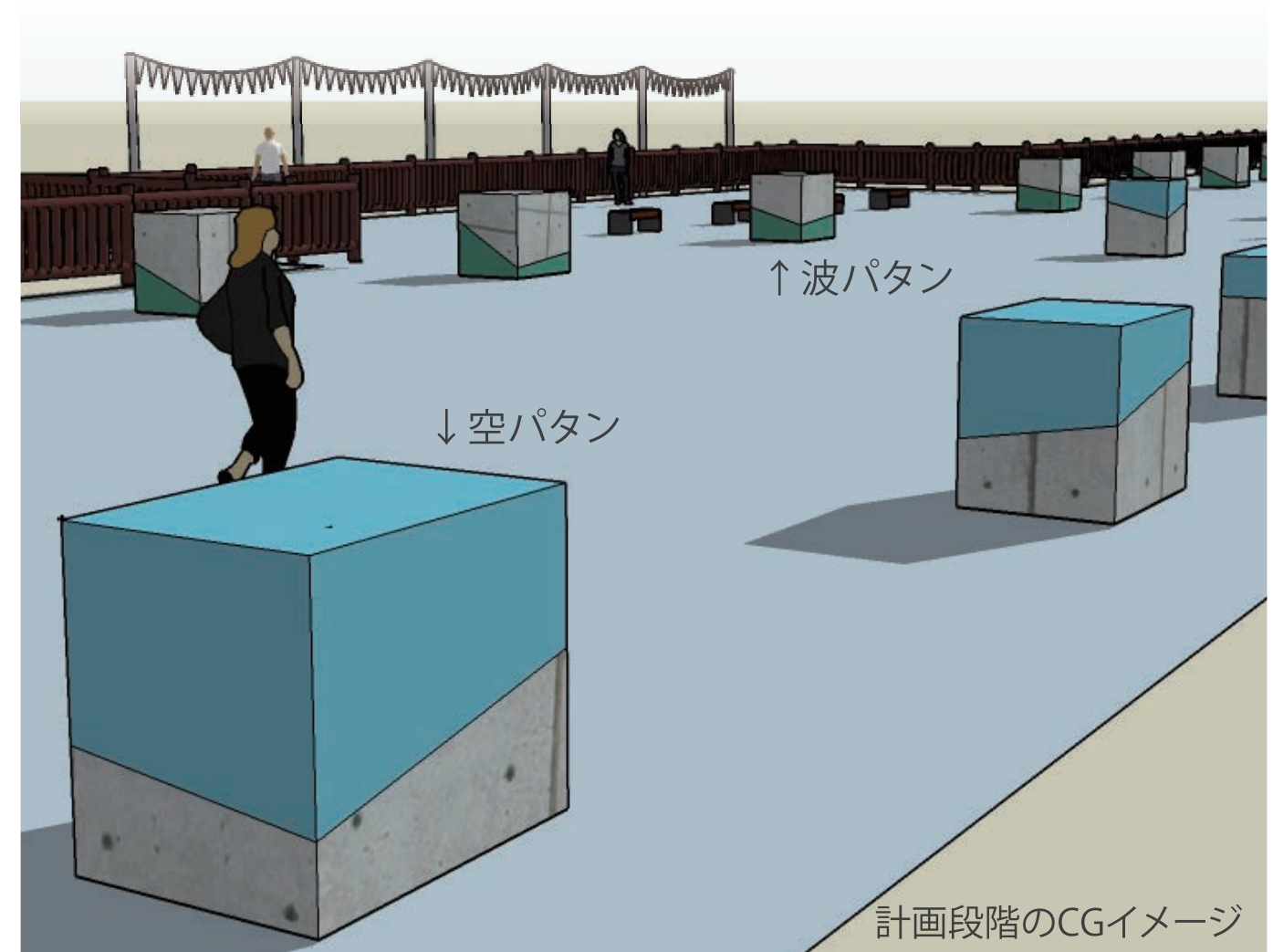
この場所は、霞ヶ浦の景色を眺めることができる展望広場などを整備した暫定的な広場です。土浦市では筑波大学都市デザイン研究室の企画提案を活用し、新たに「三帆ひろば」として魅力ある公共空間づくりを行いました。今後とも継続的な活動によって市民の皆様にとってより身近で愛着の持てる拠点を目指しています。

メインブロックゾーン

無機質な灰色のコンクリートブロックにカラーペイントを施し、広場を特徴づけました。

空・波パタンブロック

運動公園側の列のブロックは青空をイメージした水色、霞ヶ浦側の列は湖をイメージしたニースグリーンをペイントしました。また、色面を上下に連続的に変化させることで空や波のゆらぎを表現しています。



にぎわいパステルブロック

各ブロックの東面(霞ヶ浦側)と中央列の4基は、まちのにぎわいをイメージしたパステルカラーをペイントしました。また、ニースイエロー・ニースグリーン・ラベンダー・ニースピーチの4色を用いてリズム感のある構成に仕上げました。



ブロックナンバー

1～66までの数字があります。一見ランダムに見える数字の配列ですが、実は何かを表しています。さて何でしょうか？ご家族や友人同士で「数字探し」や「足し算・かけ算遊び」といった、体と頭を使う遊びの場としてご利用いただけます。

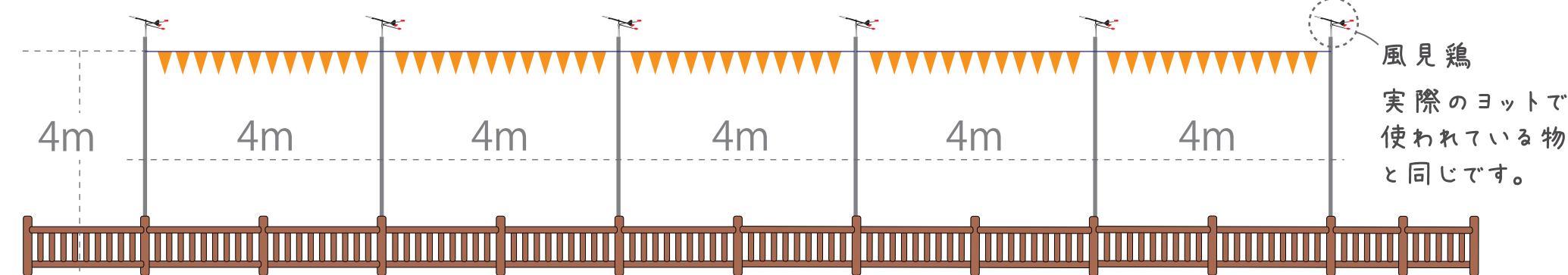


三角フラッグゾーン

マリーナのヨットの帆に由来する三角モチーフを使って、風にひらひらとなびくフラッグをかけることができます。

みんなでつくるフラッグづくり

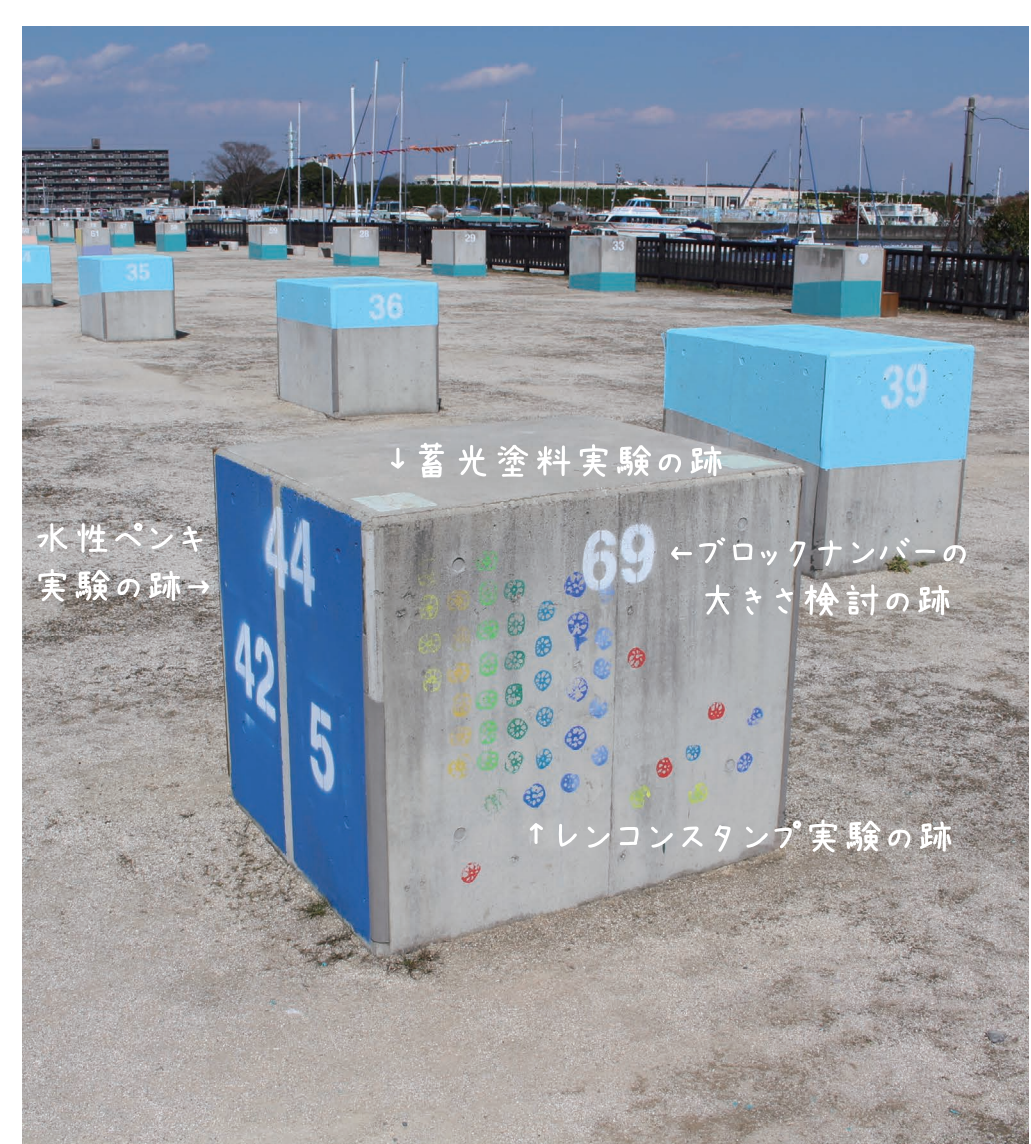
広場のデッキ部に6本のポールを設置しました。これにロープを張ることで様々なフラッグを掲げることができます。準備の段階では、フラッグの縫製に土浦市つくしの家、フラッグの彩色に市内の幼稚園、小学校、中学校、高校の皆様にも協力していただきました。今後も市民の皆様のご自由なアイデアで展示の場などに利用できます。



実験ブロック

お試し用ブロック

制作過程で試行に用いたブロックです。今後、広場の改良を検討することがあった場合に役立てるため、あえて残しておきました。



さんぽステーション

ウッドテーブルの貼付け

ウッドテーブルを天板として貼り付けることで、飲食物を置いたり、荷物を置くことができます。お弁当やドリンクを持ち込み、景色の良い霞ヶ浦を眺めながら、食事をしたり、休憩をする場所としてお使いいただけます。

黒板ブロック

さんぽステーション内のコンクリートブロックの壁面は黒板になっています。親子や友達同士でチョークを使って自由にお絵描きができます。また、メッセージや情報を書き込めば伝言板として利用することもできます。



施工の様子

コンクリートブロックのペイントは、筑波大学の学生をはじめ、ボランティアの手作業で塗装しました。

